

大きな切り妻屋根の下、
森が香る北海道産スギの家。



鉄骨のらせん階段は家族専用。思わず上ってみたいくなる遊び心のあるデザイン。

「一見シンプルだけれど、印象的な家をつくりたかった」。そう語るのは、ビオプラス西條デザインで建築設計を担当する山端信弘さん。この家は、すべての木材が北海道産というこだわりで建てられた。山端さんの自邸である。おだやかな表情を映す外壁をはじめ、構造材や天井、床の仕上げには道南地方で生産される無垢のスギを使い、ミズナラのフ

ローリング、トドマツのキッチンとまるで北海道のすがすがしい森にいる気分。呼吸するたび清涼な空気が身体をかけめぐり、自然とリフレッシュするようだ。山端さんには以前からあたためていたプランがあった。それは南面に連続した開口部のある建物に、ロングスパンの切り妻屋根をかけるというものだ。幸運にも1年がかりで出会った

土地は南面にボリュームがあり、理想を叶えるのにふさわしい形状。スギ板の壁に、三角屋根からひょっこり現れる煙突はなんとも愛嬌があり、近隣の雰囲気までやわらげているようだ。

Example Report
BIOPLUS SAIJO DESIGN

有限会社 ビオプラス西條デザイン 取材・文/三枝史子 撮影/KEN五島



【札幌市：Y邸】
我が家マーク



フラットな庇をかけただけの素朴なエントランスがこの家を物語る。



シンプルながら長い切り妻屋根とスギ板の壁が印象的な外観。

木の香りが漂う階段ホールは、ライブラリーを兼ねたゆとりの空間。

無垢の木と漆喰の壁が調和。屋根の形をそのまま見せた心躍る空間だ。
「見える化」にこだわったキッチンが、ふだんからキレイにしておく習慣が定着した。

住空間はできるだけ仕切らず、間取りはシンプルに。単純な骨格に大きな屋根をかけるというアイデアは、LDKを2階に配したことでより魅力的に実現された。オープンフロアのリビングダイニングは三角屋根の勾配が生きた楽しい空間となり、アーチ状に切り取られた開口部もユーモラスなスパイスを効かせている。

キッチンは長さのある壁側に沿ってコン

ロとシンクを収め、調理の機能を集約。空間中央には、手持ちのチェストに合わせて造作した作業テーブルを置き、盛り付けや配膳を効率よくできるよう工夫。シンプルというコンセプトはキッチンも例外ではなく、吊り戸棚や不要な扉を設けず「見える化」を徹底。使い勝手とデザイン性が向上し、「料理も後片づけも楽しくなった」と奥さまはうれしそうだ。

天井の仕上げに採用したシナ合板は、ビ

オプラス西條デザインでは通常使わない素材だが、あえて自邸に取り入れることでコストや質感を体感。天井の梁を並行ではなく斜めに渡すのも、山端さんがやってみなかったことのひとつで、「施工の手間はかかるけれど、空間にもたらず変化とヨコ揺れにも強いという手応えを確かめたかった」という。これも、自邸だからこそできた実験的試みである。



- 1 1/リビングの吹き抜けから見下ろした土間玄関。冬は薪ストーブが活躍する。 2/玄関とガラス扉で仕切られた事務所スペース。こじんまりと開放的。
- 2 3/土間玄関には床暖房が敷設され、2階にも暖かい空気が届く。 4/シックな壁紙でひと味違った演出のトイレ。
- 4 5 5/浴室の床と壁は実験的にFRP防水塗装を採用。水を弾いて手入れがラク。

ソファの後ろが吹き抜けになっているリビング。アーチの向こうはゲストルーム。

近い将来、独立を目指さず山端さんはここに事務所を併設し、いずれモデルハウスとしても機能させる予定だ。

東西に奥行きのあるこの家には、両端に趣の異なるふたつの階段がある。玄関と事務所スペースのある東側は家族とゲストが共用する木製のストレート階段で、昇り切ったところがリビングだ。一方、寝室と浴室を配置した西側はプライベートオンリーの鉄骨らせん階段で、こちらはキッチンサイドへアクセス。山端さんいわく「こういう遊び心を取り入れることで暮らしにゆとりが生まれます。たとえば、夕食のあとお風呂道具を抱えて、らせん階段を

降りていくのも楽しいかなと(笑)」。

山端さんの家は、下地素材にも無垢の木を使い化学物質無添加を徹底するバイオプラス西條デザインの標準仕様とは一部異なるが、古紙を再生した断熱材やホクテ貝殻漆喰の塗り壁を採用するなど、できるだけ天然素材を使った自然派住宅であることに変わらない。施工中は週末のたびに奥さまと漆喰の壁を塗り、床のワックスもふたりでかけた。素材にふれながらわが家への愛着を深め、メンテナンスを体で覚える住み手参加型のスタイルも同じである。そこが同社のいちばんの特徴であり、その精神はずっと大切にしたいという。

1階の寝室と水回り、2階のダイニングキッチンを結ぶ「裏階段」。



Point 設計のポイント

- 南に開いたシンプルな建物に長い切り妻屋根で印象的に。
- 道南杉をはじめオール北海道産の木材と自然素材をふんだんに。
- 将来を見据えた事務所スペースを玄関土間に隣接。
- 用途に応じて使い分けも楽しい、表情の異なるふたつの階段。
- 屋根形状をそのまま生かしたオープン感覚のリビングダイニング。

有限会社 バイオプラス西條デザイン

【本社】〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581

【伊達支店】〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139

http://www.saijo-d.com ※詳しくはビルダーインデックスをご覧ください。

Data

敷地面積 191.03㎡ (57.78坪)	◎内装材/ホタテ漆喰塗り
延床面積 111.60㎡ (33.75坪)	◎開口部/木製サッシ
1階面積 57.60㎡ (17.42坪)	◎木材保護塗料塗り
2階面積 54.00㎡ (16.33坪)	◎暖房/エコジョーズ
	◎薪ストーブ
	◎キッチン/家具製作
	◎バスルーム/FRP防水
	◎ヒバ羽目板t=15
	◎竣工年月/2015年4月
	◎工期/150日
	◎家族構成/ご夫婦
	◎プラン/フリープラン



有限会社 ビオプラス西條デザイン



資料請求番号

0



天然素材、地域の素材、無添加素材で、
五感に響くエコロジー住宅を提案します。

北海道の気候に適した地元の無垢材をはじめ、健康と環境に配慮した漆喰や珪藻土などの自然素材を使い、エコロジースタイルに特化した住まいづくりを進めています。設計・施工はもとより、エコロジー建材や塗料のコーディネート、無垢の素材で仕立てる自然派キッチンなど、造作のデザインもおまかせください。そこで暮らすご家族と一緒になって、末永く愛着の持てる家をおつくりします。

【本社】〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
tel.011-774-8599 fax.011-774-8581
【伊達支店】〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
tel.0142-22-0138 fax.0142-22-0139



<http://www.saijo-d.com>

建設業許可番号/北海道知事許可(般-22)石第14917号 一級建築士事務所/北海道知事登録(石)第4897号

- 事業内容 / 新築住宅、リモデル、店舗の設計・施工、一般建築住宅の設計・監理
- 取扱工法 / 木造在来工法
- アフター保証 / 住宅保証機構(株)、まもりすまい保険

■ 取り扱い坪単価

40万未満	40万～50万未満	50万～60万未満	60万～70万未満	70万～80万未満	80万以上
-------	-----------	-----------	-----------	-----------	-------

※仕様や設備により異なりますので、お問い合わせください。

この会社の事例情報を見る P00